



STOP! 受動喫煙

家族や子ども達をたばこの煙から守りましょう!
北九州市を受動喫煙のないまちに

受動喫煙によって毎年約15,000人の命が奪われています!!

受動喫煙との関連が「確実」と判定された肺がん、虚血性心疾患、脳卒中、乳幼児突然死症候群 (SIDS) の4疾患について、わが国では年間約1万5千人が受動喫煙で死亡しており健康影響は深刻です。受動喫煙による肺がんのリスクは1.28倍 (28%の上昇)、虚血性心疾患のリスクは1.3倍 (30%の上昇)、脳卒中のリスクは1.24倍 (24%の上昇) とされています。

わたしたちに、たばこの煙を吸わせないで!

両親が共に喫煙する場合は、乳幼児突然死症候群 (SIDS) の発症率が約4.7倍も高くなります。

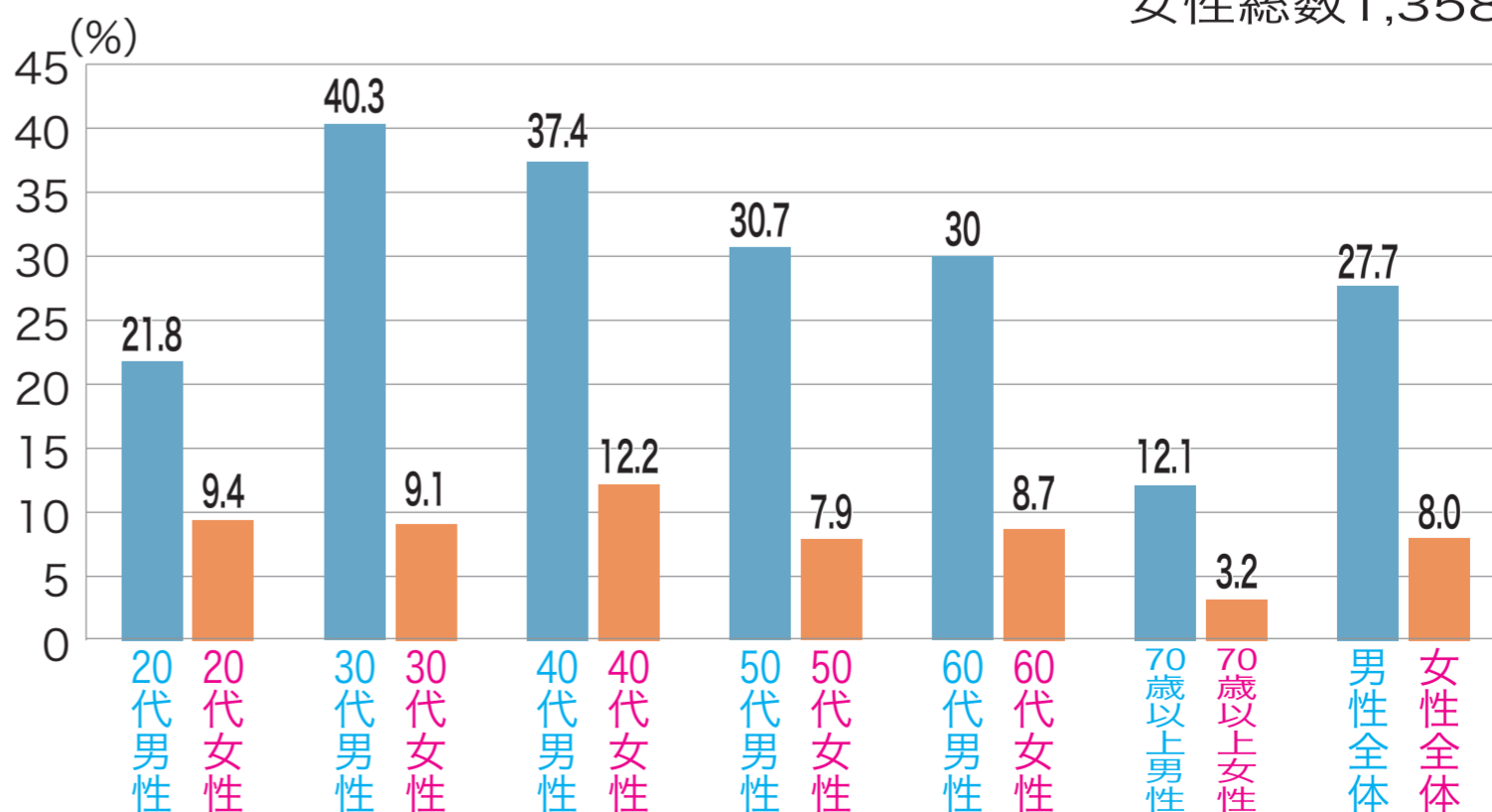
(妊娠中の喫煙もSIDSを増加させるデータあり)

※乳幼児突然死症候群は赤ちゃんが突然死亡してしまうことで、厚生労働省によれば、日本では4,000人に1人の割合で起こっており、生後2か月から6か月の赤ちゃんに多いとされています。

北九州市民の喫煙率

令和4年健康づくり実態調査

男性総数 864
女性総数 1,358



北九州市民の喫煙率 (加熱式たばこも含む) は高止まりしています。
(前回平成28年度調査では、男性27.9% 女性8.1%)

受動喫煙は子どもの中耳炎の原因に!

のどの奥と中耳の間には耳管が通じているので、のどに吸い込まれたたばこの煙は、耳管を通して中耳にも侵入します。

受動喫煙はむし歯のリスクを高める!

受動喫煙は、子どもの口腔環境に悪影響を及ぼし、むし歯のリスクを高める原因になると言われています。